

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年11月14日

【四半期会計期間】 第54期第2四半期(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

【会社名】 鈴木器工株式会社

【英訳名】 Suzumo Machinery Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 小根田育治

【本店の所在の場所】 東京都練馬区豊玉北二丁目23番2号

【電話番号】 03(3993)1371

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 鈴木美奈子

【最寄りの連絡場所】 東京都練馬区豊玉北二丁目23番2号

【電話番号】 03(3993)1371

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 鈴木美奈子

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第53期 第2四半期 連結累計期間	第54期 第2四半期 連結累計期間	第53期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	3,476,635	3,586,576	7,149,625
経常利益 (千円)	423,431	475,883	969,451
四半期(当期)純利益 (千円)	255,096	280,301	598,651
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	253,909	283,494	604,764
純資産額 (千円)	6,312,025	6,947,404	6,662,879
総資産額 (千円)	7,703,988	8,832,933	8,066,755
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	42.86	46.54	100.58
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	46.08	—
自己資本比率 (%)	81.9	78.7	82.6
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	179,766	352,252	670,050
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	△36,870	△289,381	△48,667
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	△101,963	390,906	△119,033
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	2,369,778	3,284,973	2,831,195

回次	第53期 第2四半期 連結会計期間	第54期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	19.58	20.00

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 平成25年4月1日付けで普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。
- 4 第53期第2四半期連結累計期間および第53期連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、新株予約権方式のストックオプション制度を導入しておりますが、期中平均株価が権利行使価格を下回るので記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間における経済環境につきましては、経済・財政政策による円高是正や株価回復を背景として企業収益の改善など景気回復の明るい局面が見られたものの、新興国の経済停滞の影響が懸念されることもあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食産業につきましては、消費者マインドの改善の兆しが見られるものの、本格的な個人消費の回復には至らず、引き続き低価格志向が続くなど、厳しい状況で推移いたしました。

このような情勢の中、当社グループとしては、お客様のニーズに合った製品をお届けするために高付加価値製品の開発に取り組むと共に、当社独自の展示会「スズモフェア」を計画通り主要都市にて開催いたしました。

販売状況につきましては、主力製品である店舗向け小型ロボットを中心に、お客様に満足していただくために細やかな営業活動を展開してまいりました。海外につきましては、アジア、オセアニア、南米の展示会に参加し、各国における寿司のあり方をより一層知ると共に寿司文化の浸透に働きかけるための営業活動をいたしました。また、子会社の株式会社セハー ジャパンについては、アルコール系洗剤・除菌剤や離型油等の販売拡大を積極的に展開いたしました。

このような結果、当第2四半期連結累計期間における売上高合計は35億86百万円(前年同期比3.2%増)となりました。また、利益につきましては、営業利益4億71百万円(前年同期比13.2%増)、経常利益4億75百万円(前年同期比12.4%増)、四半期純利益2億80百万円(前年同期比9.9%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(米飯加工機械関連事業)

米飯加工機械関連事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は33億4百万円(前年同期比3.0%増)、営業利益は4億64百万円(前年同期比14.3%増)となりました。

(衛生資材関連事業)

衛生資材関連事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は2億82百万円(前年同期比5.2%増)、営業利益は7百万円(前年同期比48.0%減)となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ7億66百万円増加し88億32百万円となりました。これは主に、現金及び預金が4億53百万円、たな卸資産が1億74百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ4億81百万円増加し18億85百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ2億84百万円増加し69億47百万円となりました。これは主に、ストックオプションの行使により資本金が38百万円、資本剰余金が38百万円増加したこと、利益剰余金が配当金の支払74百万円により減少したこと、および四半期純利益により2億80百万円増加したことなどによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ4億53百万円増加し、当第2四半期連結累計期間末には32億84百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払額2億48百万円、たな卸資産の増加1億74百万円等による資金の減少はありましたが、税金等調整前四半期純利益4億75百万円、賞与引当金の増加84百万円、売上債権の減少77百万円、仕入債務の増加72百万円、減価償却費72百万円等による資金の増加により、3億52百万円の資金の増加(前年同四半期連結累計期間に比べ1億72百万円の増加)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得2億91百万円等による資金の減少により、2億89百万円の資金の減少(前年同四半期連結累計期間に比べ2億52百万円の減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額74百万円等による資金の減少はありましたが、短期借入金が増加4億円、ストックオプションの行使による収入76百万円等により、3億90百万円の資金の増加(前年同四半期連結累計期間に比べ4億92百万円の増加)となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は31百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,000,000
計	16,000,000

② 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,048,000	6,048,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	完全議決権株式であり、権利 内容に何ら限定のない当社に おける標準となる株式 単元株式数は100株であります
計	6,048,000	6,048,000	—	—

(注) 提出日現在の発行数には、平成25年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日 (注)	16	6,048	6	609	6	438

(注) 新株予約権の行使による増加であります。

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
鈴木節子	東京都練馬区	1,675	27.70
鈴木美奈子	東京都練馬区	813	13.44
鈴木映子	東京都杉並区	813	13.44
鈴茂器工取引先持株会	東京都練馬区豊玉北二丁目23-2	233	3.84
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社	東京都中央区晴海一丁目8-11	143	2.36
平田邦治	愛知県名古屋市天白区	130	2.15
ゴールドマン・サックス・アン ド・カンパニーレギュラーアカ ウント(常任代理人 ゴールド マン・サックス証券株式会社)	東京都港区六本木六丁目10-1	124	2.05
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内一丁目1-2	120	1.98
株式会社みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サー ビス信託銀行株式会社)	東京都中央区晴海一丁目8-12	96	1.59
鈴茂器工従業員持株会	東京都練馬区豊玉北二丁目23-2	66	1.10
計	—	4,213	69.65

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,300	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,010,400	60,104	—
単元未満株式	普通株式 36,300	—	—
発行済株式総数	6,048,000	—	—
総株主の議決権	—	60,104	—

(注) 上記「単元未満株式」には当社所有の自己株式61株が含まれております。

② 【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 鈴茂器工株式会社	東京都練馬区豊玉北 2-23-2	1,300	—	1,300	0.0
計	—	1,300	—	1,300	0.0

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、優成監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,831,195	3,284,973
受取手形及び売掛金	1,113,201	1,035,410
たな卸資産	※1 973,647	※1 1,147,854
繰延税金資産	95,606	95,566
その他	31,071	40,311
貸倒引当金	△167	△101
流動資産合計	5,044,555	5,604,013
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,213,949	1,191,735
土地	983,856	983,856
その他（純額）	127,807	360,844
有形固定資産合計	2,325,613	2,536,436
無形固定資産		
その他	29,827	27,369
無形固定資産合計	29,827	27,369
投資その他の資産		
投資有価証券	366,159	373,351
繰延税金資産	145,848	144,080
その他	168,307	161,241
貸倒引当金	△13,556	△13,559
投資その他の資産合計	666,759	665,112
固定資産合計	3,022,200	3,228,919
資産合計	8,066,755	8,832,933
負債の部		
流動負債		
買掛金	274,937	347,905
短期借入金	—	400,000
未払法人税等	254,874	200,999
賞与引当金	125,551	210,521
その他	276,714	246,121
流動負債合計	932,078	1,405,547
固定負債		
退職給付引当金	328,097	349,732
役員退職慰労引当金	8,518	9,918
その他	135,181	120,329
固定負債合計	471,797	479,980
負債合計	1,403,876	1,885,528

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	571,200	609,696
資本剰余金	399,850	438,250
利益剰余金	5,664,047	5,869,950
自己株式	△89	△1,557
株主資本合計	6,635,007	6,916,339
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,871	31,065
その他の包括利益累計額合計	27,871	31,065
純資産合計	6,662,879	6,947,404
負債純資産合計	8,066,755	8,832,933

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	3,476,635	3,586,576
売上原価	1,948,967	1,956,541
売上総利益	1,527,667	1,630,034
販売費及び一般管理費	※ 1,110,807	※ 1,158,308
営業利益	416,860	471,726
営業外収益		
受取利息	2,030	1,513
受取配当金	1,431	1,142
助成金収入	2,231	2,700
その他	3,100	1,554
営業外収益合計	8,793	6,911
営業外費用		
支払利息	337	314
手形売却損	88	49
売上割引	1,791	1,896
その他	4	493
営業外費用合計	2,222	2,754
経常利益	423,431	475,883
特別損失		
有形固定資産除却損	696	—
特別損失合計	696	—
税金等調整前四半期純利益	422,734	475,883
法人税等	167,638	195,582
少数株主損益調整前四半期純利益	255,096	280,301
四半期純利益	255,096	280,301

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	255,096	280,301
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,186	3,193
その他の包括利益合計	△1,186	3,193
四半期包括利益	253,909	283,494
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	253,909	283,494

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	422,734	475,883
減価償却費	74,301	72,811
のれん償却額	3,731	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△404	△62
賞与引当金の増減額 (△は減少)	83,822	84,969
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	13,643	21,635
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,400	1,400
受取利息及び受取配当金	△3,461	△2,656
支払利息及び手形売却損	426	363
売上債権の増減額 (△は増加)	23,101	77,801
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△135,434	△174,207
仕入債務の増減額 (△は減少)	△80,024	72,967
未払費用の増減額 (△は減少)	15,771	22,309
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△19,284	△32,622
その他	△56,965	△22,943
小計	343,356	597,650
利息及び配当金の受取額	3,586	3,163
利息の支払額	△337	△314
手形売却に伴う支払額	△88	△49
法人税等の支払額	△166,750	△248,198
営業活動によるキャッシュ・フロー	179,766	352,252
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1,578	△2,229
有形固定資産の取得による支出	△30,449	△291,701
無形固定資産の取得による支出	△980	△2,437
貸付金の回収による収入	969	800
差入保証金の差入による支出	△104	△180
差入保証金の回収による収入	100	109
保険積立金の積立による支出	△4,829	△4,494
保険積立金の払戻による収入	—	10,751
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36,870	△289,381
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△15,000	400,000
リース債務の返済による支出	△12,566	△10,123
ストックオプションの行使による収入	—	76,896
配当金の支払額	△74,397	△74,397
その他	—	△1,468
財務活動によるキャッシュ・フロー	△101,963	390,906
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	40,931	453,777
現金及び現金同等物の期首残高	2,328,846	2,831,195
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 2,369,778	※ 3,284,973

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
税金費用の計算	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 たな卸資産の内訳

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
商品及び製品	649,597千円	774,940千円
仕掛品	101,701 "	134,585 "
原材料及び貯蔵品	222,348 "	238,328 "

2 偶発債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対して、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
北海道鈴茂販売(株)	7,280千円	北海道鈴茂販売(株) 5,600千円

3 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形裏書譲渡高	174,035千円	138,012千円

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
従業員給料	364,581千円	374,186千円
法定福利費	83,437 "	87,246 "
賞与引当金繰入額	111,735 "	114,419 "
退職給付引当金繰入額	11,595 "	12,608 "
役員退職慰労引当金繰入額	1,400 "	1,400 "
販売促進費	53,444 "	55,748 "
旅費交通費	74,157 "	80,246 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び預金	2,369,778千円	3,284,973千円
現金及び現金同等物	2,369,778千円	3,284,973千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	74,397	15	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	74,397	15	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	米飯加工機械 関連事業	衛生資材 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,208,075	268,559	3,476,635	—	3,476,635
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,208,075	268,559	3,476,635	—	3,476,635
セグメント利益	405,995	14,596	420,591	△3,731	416,860

(注) 1 セグメント利益の調整額△3,731千円は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	米飯加工機械 関連事業	衛生資材 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,304,041	282,534	3,586,576	—	3,586,576
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,304,041	282,534	3,586,576	—	3,586,576
セグメント利益	464,141	7,585	471,726	—	471,726

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	42円86銭	46円54銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	255,096	280,301
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	255,096	280,301
普通株式の期中平均株式数(株)	5,951,813	6,023,169
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	—	46円08銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	59,679
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

- (注) 1 当社は、平成25年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式1.2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。
- 2 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、新株予約権方式のストックオプション制度を導入しておりますが、期中平均株価が権利行使価格を下回るので記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月8日

鈴茂器工株式会社
取締役会 御中

優 成 監 査 法 人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 渡 邊 芳 樹 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 鶴 見 寛 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 陶 江 徹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている鈴茂器工株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、鈴茂器工株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。